

令和6年度 茨城県立水海道第一高等学校卒業式 学校長式辞

卒業おめでとう。君たちは、僕が副校長で学校に来た時に1年で、そこから2年、3年とこの変な校長のもと学校生活を送ってきました。まずそのことに感謝したいと思います。そして君たちは校長がこんななのをいいことに、思い切りいろんなことにチャレンジしてくれました。いまでも思い出しますが、文化祭実行委員会が文化祭の企画書を持って校長室に来ました。そこには協賛スポンサー集めなど実現したプランもありますが、一つ実現しなかったプランとして閉会式後に花火を上げたいというものがありました。それも普通の花火ではありません。花火大会でやる本物の花火です。花火会社の見積もりまでついていました。彼らが言うには校庭では上げられないので鬼怒川の河川敷で上げます、市役所の許可もとっていますと。いやいやいや、それは文化祭ではなくて常総市花火大会なんじゃないの?というので実現には至らなかったんですが、僕は君たちの妄想がひろがりつづけて花火会社さんや常総市役所も巻き込むところまで行ったことに本当に感心しました。心からうれしかったです。なぜなら、このプロセス、行動力というのは、まさに社会に出てからの仕事の仕方や、生き方そのものだからです。僕が本校で探究に力を入れているのもこの動き方を高校生のうちに身に着けて、大学、社会人になったときにナチュラルに動ける、つまりはいい活動、いい仕事ができるようになって欲しいからに他なりません。君たちのほとんどは大学に行きます。大学というのは高校よりもはるかに面倒見の悪い場所です。自分で勉強しなければ単位を落とし留年します。誰も授業に出なさい、勉強しなさいなんて言ってくれません。さらにはバイトやサークルだけやっても誰も咎めません。自分で自分の 24 時間を何に使うか決められる場所です。この自由な時間を有意義に使えたということが、就職面接で私は役に立ちますよという証になります。では、果たして有意義とは何でしょうか?僕の考えですが、それは自分を成長させてくれることだと思います。言い換えれば、それをやるのがチャレンジかどうか、です。最初はチャレンジだったことも慣れればチャレンジではなくなりもっと上が必要になります。これが人生の山を登るということです。もうひとつには、自分オリジナルかどうか、です。みんながやっているから、が理由のチャレンジは成長にはつながりません。自分らしいチャレンジが自分の人生をつくっていきます。こんな題名の本があります。「#100 日チャレンジ、毎日連続 100 本アプリを作ったら人生が変わった」。中央大学の経済学部の学生、きみたちとあまり変わらない学生がある日、授業で習った ChatGPT を活用してオセロゲームを作ってみたところから 100 日連続でゲームを作って X にアップするという自分で決めたチャレンジをしてどんどん人生が変わっていく話です。まさにオリジナルなチャレンジが人生を変えた事例です。読んでみてください。チャレンジは無理やりする必要はありませんが、いつも何かチャレンジを探してみてください。するとある日、何かが目に留まります。そこから人生が動き出していきます。僕が茨城県の民間校長の公募を見つけたのも、同じ原理です。それでは、それぞれの進路で、それぞれの花火をしっかりとあげてください!きみたちならできると僕は確信しています。卒業おめでとう!